

# 飛騨市薬草ビレッジ構想が描く まちづくりプロジェクト

～地域資源を活用し市民が守る健康と自然～

定員  
40人

## 地方創生実践塾 in 岐阜県飛騨市

日時: 令和3年7月17日(土)～18日(日)

会場: 飛騨市役所西庁舎3階大会議室

対象: 地域づくりに興味のある方

※公務員、NPO、地域づくり団体、学生等



主催: (一財)地域活性化センター

共催: 飛騨市

後援(予定): 内閣府、総務省、岐阜県



## 岐阜県飛騨市

飛騨市の中心部、古川町を流れる瀬戸川沿いには白壁の土蔵が立ち並び、高山の奥座敷と称されています。情緒豊かな景観で城下町飛騨古川の顔ともいべき人気のメインスポットです。

伝統的な街並みを抱える飛騨市は、これまでにはなかった様々な取組をすすめています。中でも「飛騨市ファンクラブ」の会員証が特徴的で、電子マネー「楽天Edy」機能がついています。

そんな飛騨市が進める地域資源を利用したプロジェクトを、ぜひ学びに来てください。



※ スケジュールは現在調整中です。随時、HPでお知らせいたします。



## 申し込み方法

次のいずれかの方法でお申し込みください。

- ホームページ申込フォームから（右のQRコードを読み取り）必要事項を入力のうえ、お申し込みください。



- e-mail (chiiki@jcrd.jp宛て)

件名を「実践塾飛騨市申込」とし、本文に次の各事項をご記入のうえ、送信してください。

- ①氏名 ②氏名(フリガナ) ③セミナー当日の年齢 ④郵便番号・住所 ⑤勤務先(団体名・役職)
- ⑥勤務先電話番号 ⑦携帯電話番号(当日連絡が取れる番号) ⑧メールアドレス ⑨交流会の出欠(会費制・5,000円程度) ⑩18日の昼食の要・不要(1,000円程度) ⑪請求書の要・不要(必要であれば宛名を記入)

地方創生実践塾in岐阜県飛騨市



## 講師プロフィール



岡本 文 氏

- ・メイン講師
- ・飛騨市地域おこし協力隊

2018年10月から地域おこし協力隊として活動。飛騨市薬草ビレッジ構想推進プロジェクトの中心人物として活躍し、2020年にはその取り組みが評価され、岐阜県が推進する「ぎふ女のすぐれもの」に認定されました。



都竹 淳也 氏

- ・特別講師
- ・飛騨市長

2016年3月に飛騨市長に就任し、現在2期目。「みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち」の実現に向けた取り組みを推進中。プライベートで薬草摘みに出られるなど、薬草事業に積極的に取り組まれています。



## お申し込みにあたって

■受講申込にあたり賛助会員になっていただきます(実践塾の受講は、地域活性化センターの個人賛助会員に対するサービスの一環であり、実践塾の受講のほか、機関紙配布やメルマガ配信等のサービスがあります)。

■ 賛助会費は地方創生実践塾地方版L会員10,000円、地方LS会員(学生)5,000円です。

詳しくはこちらから ↓

<https://www.jcrd.jp/member/about/>

■開催地までの往復交通費・宿泊費・飲食代等は別途ご負担ください。

■お知らせいただいた個人情報は、当センターからの事務連絡および各事業のご案内等に利用させていただく場合があります。

■開催日の3日前以降にキャンセルされた場合、賛助会費は返金できません。

※万全の感染防止対策のもと実施しますが、風邪の症状がある方は参加をご遠慮いただきます。当日2週間前からの健康チェックにご協力をお願いします。

## 「飛騨市薬草ビレッジ構想推進プロジェクト」とは？

森林が面積の9割以上を占める自然豊かな飛騨市には、245種類以上も野草(薬草)が自生しています。野菜に比べ非常に多くのミネラルが含まれる野草は、ミネラルが不足する現代人の健康維持に有効なのではないでしょうか。

「飛騨市薬草ビレッジ構想プロジェクト」は、市やNPO法人、薬草愛好団体、地元企業などと協働し、市民の健康づくりを目的に薬草の普及に取り組んできました。

平成25年度から地域内での薬草知識の普及や活用方法の啓発を進め、平成26年と令和元年に、全国の薬草に取り組んでいる自治体や団体が集まる「全国薬草シンポジウム」を飛騨市で開催しました。

